

建設省厚発第 271 号
建設省技調発第 137 号
平成 6 年 6 月 21 日

最終改正 令和 5 年 12 月 27 日 国官会第 19132 号
国官技第 273 号
国営計第 129 号
国営整第 155 号
国北予第 14 号

各地方建設局総務部長 殿
各地方建設局企画部長 殿

建設大臣官房地方厚生課長
建設大臣官房技術調査室長

公募型競争入札方式に基づく建設コンサルタント等の選定手続について

建設省が所掌する土木事業及び建築事業に係る調査、設計等の業務を建設コンサルタント等に発注しようとする場合に、指名業者の選定に当たり、建設コンサルタント等の入札参加意欲を反映するとともに、当該業務の実施に係る技術的適性を把握するための参加表明書の提出を建設コンサルタント等から幅広く求める「公募型競争入札方式」に係る手続を定めたので、下記事項に留意の上、実施されたい。

なお、指名業者の選定手続は、従来どおり会計法令等に基づいて行うものであることに留意されたい。

記

1 対象業務

本手続の対象業務は、建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領（昭和 45 年 12 月 10 日付け建設省厚第 50 号。以下「選定要領」という。）にいう測量、建設コンサルタント業務、地質調査業務及び補償関係コンサルタント業務のうち「プロポーザル方式に基づく建設コンサルタント等の特定手続について」（平成 6 年 6 月 21 日付け建設省厚発第 269 号、建設省技調発第 135 号、建設省営

建発第 24 号。以下「特定手続通達」という。) 記 1 各号のいずれにも該当しない業務であって、1 件につき予定価格が基準額(「工事又は業務等に係る通知等における基準額について」(令和 4 年 3 月 30 日付け国官会第 23759 号、国官技第 377 号、国営管 848 号、国営計第 214 号、国営整第 172 号、国港総第 750 号、国港技第 111 号、国北予第 75 号) 記 2 に定める額をいう。)) 以上のものとする。ただし、平成 6 年 4 月 15 日にマラケシュで作成され、平成 24 年 3 月 30 日ジュネーブで作成された「政府調達に関する協定を改正する議定書」(平成 26 年条約第 4 号)によって改正された「政府調達に関する協定」(平成 7 年条約第 23 号)の附属書 I の日本国付表 5 中、付表 5 に関する注釈注 3 ただし書により同協定の適用範囲から除かれる種類のサービスは本手続の対象としないものとする。

編 注 記 1 の基準額は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの間に締結される調達契約については、6800 万円。

2 参加表明書の提出

- (1) 地方整備局長又は事務所長(以下「地方整備局長等」という。)は、1 に掲げる対象業務を発注しようとする場合は、本手続への参加の希望を表明する書類(以下「参加表明書」という。)の提出を求めるものとする。
- (2) 参加表明書の受領期限は、原則として、5 (1) の入札説明書の交付を開始した日又は 7 の入札公示を行った日の翌日から起算して 10 日とするものとする。

3 参加表明書の内容

参加表明書には、当該業務の特性に応じて地方整備局長等が次に掲げる事項の中から選択したものを記載させるものとする。

- (1) 建設コンサルタント登録規程(昭和 52 年建設省告示第 717 号)その他の登録規程に基づく登録状況
- (2) 保有する技術職員の状況
- (3) 同種又は類似の業務の実績
- (4) 配置予定の技術者の資格、業務の経験等
- (5) その他地方整備局長等が必要と認める事項

4 手続開始の公示

- (1) 地方整備局長等は、参加表明書の提出を求める場合には、官報に次に掲げる事項を公示するものとする。また、当該事項は、入札情報サービス(P P I)にも掲載するものとする。
 - ① 業務名、業務内容及び履行期限
 - ② 指名競争参加資格の申請時期及び申請先
 - ③ 指名されるために必要な要件

- ④ 担当部局
- ⑤ 入札説明書の交付期間及び交付方法
- ⑥ 参加表明書の受領期限、提出先及び提出方法
- ⑦ 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法
- ⑧ 手続において使用する言語及び通貨
- ⑨ 入札保証金及び契約保証金に関する事項
- ⑩ 入札の無効に関する事項
- ⑪ 落札者の決定方法
- ⑫ 手続における交渉の有無
- ⑬ 契約書作成の要否
- ⑭ 関連情報を入手するための照会窓口
- ⑮ その他地方整備局長等が必要と認める事項

(2) (1)の公示において、次に掲げる事項を英語により記載するものとする。

- ① 契約担当官等（会計法（昭和 22 年法律第 35 号）第 29 条の 3 第 1 項に規定する契約担当官等をいう。）の氏名及びその所属する部局の名称
- ② 業務名
- ③ 参加表明書の受領期限
- ④ 入札執行の日時
- ⑤ 5 (1)の入札説明書を入手するための照会窓口

(3) (1)の公示は、別添 1 の手続開始の標準公示例及び標準入札公示例によるものとする。

5 入札説明書の交付

(1) 4 の手続開始の公示後速やかに、(2)に掲げる事項を記載した入札説明書の交付を開始するものとし、入札執行の日の前日まで交付するものとする。

(2) 入札説明書には、4 (1) (⑤を除く。)に掲げる事項及び次に掲げる事項を記載するものとする。

- ① 業務の詳細な説明
- ② 参加表明書の作成様式、記載上の留意事項及び参加表明書に関する問い合わせ先
- ③ 入札説明書に対する質問の受領期間、提出先、提出方法及びその回答方法
- ④ 支払条件
- ⑤ その他地方整備局長等が必要と認める事項

(3) (2)に掲げるもののほか、入札説明書において、次に掲げる事項を明らかにするものとする。

- ① 受領期間までに参加表明書が到達しなかった場合は入札参加者として選定されないこと
 - ② 参加表明書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とすること
 - ③ 提出された参加表明書は、返却しないこと
 - ④ 提出された参加表明書は、入札参加者の選定以外に提出者に無断で使用しないこと
 - ⑤ 受領期限後における参加表明書の差し替え及び再提出は認めないこと
 - ⑥ 参加表明書に虚偽の記載をした場合は、参加表明書を無効とするとともに、虚偽の記載をした者に対して指名停止を行うことがあること
- (4) 入札説明書は、別添 2 の標準入札説明書例により作成するものとし、別冊として、手続開始の公示又は入札公示の写し、契約書案、入札心得、図面（必要な場合のみ。）、仕様書及び現場説明書を含めるものとする。

6 入札参加者の選定

- (1) 地方整備局長等は、参加表明書の審査を行い、審査の結果を踏まえ、選定要領第 15 の指名基準に基づき、参加表明書を提出した者の中から当該業務の競争入札に参加する者を入札・契約手続運営委員会の議を経て、指名するものとする。
- (2) 地方整備局長等は、(1) の参加表明書の審査を行うため、特定手続通達記 6 (1) の建設コンサルタント選定委員会を活用するものとする。
- (3) 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 97 条第 2 項の規定に基づく指名通知は、7 の入札公示の日においてするものとする。ただし、7 の入札公示に係る参加表明書を提出した者については、開札の時までに、指名競争参加資格（当該地方整備局において、対象業務に係る業務区分について、選定要領に基づき認定されるものをいう。以下同じ。）が認定された場合において、指名されるために必要な要件を満たしていると認められるときに限り、当該認定後速やかに指名通知をするものとする。

7 入札公示

- (1) 地方整備局長等は、国の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（昭和 55 年政令第 300 号）第 7 条第 1 項の規定に基づき、入札書の受領期限の前日から起算して少なくとも 40 日前に官報に 4 (1) に掲げる事項を公示するものとする。
- (2) 4 (2) の規定は、(1) の公示について準用する。
- (3) (1) の公示は、別添 1 の手続開始の標準公示例及び標準入札公示例によるものとする。
- (4) (1) の公示に基づき参加表明書を提出することができる者は、4 の手続開始の

公示の日において、指名競争参加資格の認定を受けていない者とし、その旨を(1)の公示において明らかにするものとする。

8 非指名理由の説明

- (1) 地方整備局長等は、参加表明書を提出した者のうち当該業務について指名しなかったものに対して、指名しなかった旨及び指名しなかった理由（以下「非指名理由」という。）を書面により通知するものとする。
- (2) (1)の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して7日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日を含まない。）以内に、書面により、地方整備局長等に対して非指名理由についての説明を求められることができるものとする。
- (3) 地方整備局長等は、非指名理由についての説明を求められたときは、説明を求められることができる最終日の翌日から起算して10日以内に、書面により回答するものとする。
- (4) (1)から(3)までに掲げる事項については、入札説明書において明らかにするとともに、(2)に掲げる事項については、(1)の通知において明らかにするものとする。
- (5) (1)の通知は、当該業務に係る指名通知と同時に行うものとする。ただし、7の入札公示に係る参加表明書を提出した者については、開札の時までに指名競争参加資格の認定がなされた場合に限り、当該認定後速やかに行うものとする。非指名理由については、選定要領第15第2号に規定する指名基準の各事項（指名が特定の有資格業者に偏しないこと及びイからトまでの事項をいう。）のいずれの観点から指名しなかったかを明らかにするものとする。
- (6) 地方整備局長等は、(3)の回答内容を入札・契約手続運営委員会に報告するものとする。

9 入札説明書に対する質問

- (1) 入札説明書に対する質問書の提出があった場合においては、その質問に対する回答書を原則として電子入札システムにより閲覧に供するものとする。
- (2) 質問書の受領期間は、原則として、入札説明書の交付を開始した日の翌日から、入札執行の日の前日から起算して8日前の日までとするものとする。
- (3) 質問に対する回答書の閲覧は、原則として、質問書の受領期間の最終日の翌日から起算して5日後までに開始し、入札執行の日の前日に終了するものとする。

10 入札の執行

- (1) 入札は原則として電子入札システムによるものとする。
- (2) 開札は、入札執行の日時及び場所において、入札者又はその代理人を立ち会

わせて行い、入札者又はその代理人が立ち会わない場合においては、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて行うものとする。

(3) (2)に掲げる事項を入札説明書において明らかにするものとする。

11 入札の無効

4 の手続開始の公示及び7 の入札公示に示した指名されるために必要な要件のない者のした入札、参加表明書に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消すものとする。なお、指名された者であっても、開札の時ににおいて建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けているものその他の開札の時ににおいて指名されるために必要な要件のないものは指名されるために必要な要件のない者に該当するものとする。

12 苦情申立て

本通達に基づく手続に関し、「政府調達に関する苦情の処理手続」（平成7年12月14日付け政府調達苦情処理推進本部決定）により、政府調達苦情検討委員会に対して苦情を申し立てることができる旨を入札説明書において明らかにするものとする。

13 その他

- (1) 契約等の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限るものとし、その旨を4の手続開始の公示、6の指名通知及び7の入札公示並びに入札説明書において明らかにすることとする。
- (2) 地方整備局長等は、落札者が参加表明書に記載した配置予定の技術者が対象業務に配置されるよう、必要な措置を講じるものとする。
- (3) 4の手続開始の公示及び7の入札公示並びに入札説明書に記載する事項については、上記に定めるもののほか、それぞれ別添1の手続開始の標準公示例及び標準入札公示例並びに別添2の標準入札説明書例によるものとする。

附 則（平成 31 年 3 月 27 日国地契第 38 号・国官技第 284 号・国営整第 155 号）

この通知は、平成 31 年 10 月 1 日以降に締結する契約（平成 31 年 4 月 1 日から平成 31 年 9 月 30 日までの間に締結する契約であって、当該契約に係る引き渡しが平成 31 年 10 月 1 日以降になされるものも含む。）から適用する。

附 則（令和 2 年 3 月 31 日国地契第 81 号・国官技第 470 号・国営整第 173 号）

この通知は、令和 2 年 4 月 1 日以降に入札契約手続を開始する業務から業務から適用する。

(別添 1)

手続開始の標準公示例及び標準入札公示例

公募型競争入札方式に係る手続開始の公示〔入札公示〕

(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く))

次のとおり指名競争入札参加者の選定の手続を開始します。〔次のとおり指名競争入札に付します。〕

令和〇年〇月〇日

支出負担行為担当官

〇〇地方整備局長 〇〇 〇〇

◎調達機関番号 000 ◎所在地番号 00

〇第N号

1 業務概要

- (1) 品目分類番号 42
- (2) 業務名 〇〇〇〇業務
- (3) 業務内容 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。
- (4) 履行期限 令和〇年〇月〇日

2 指名されるために必要な要件

- (1) 入札参加者に要求される資格
 - ① 予算決算及び会計令(以下「予決令」という。)第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
 - ② 〇〇地方整備局における〇〇業務に係る指名競争参加資格の認定を受けていること。
- (2) 入札参加者を選定するための基準
 - 〇〇地方整備局建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領に定める指名基準による。なお、同基準中の「当該業務における技術的適性」については、保有する技術職員の状況、同種又は類似の業務の実績並びに配置予定の技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務等を勘案するものとする。

3 入札手続等

- (1) 担当部局
 - 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇—〇—〇 〇〇地方整備局総務部契約課
 - 〇〇係 電話 0000—00—0000 電子メール〇〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇
- (2) 指名競争参加資格の申請時期及び申請先
 - 上記2(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定に係る申請は、「競争参加者の資格に関する公示」(令和〇年〇月〇日付け国土交通省大臣官房会計課長、

国土交通省大臣官房官庁営繕部管理課長公示)別記に掲げる当該者(当該者が設計共同体である場合においては、その代表者。)の本店所在地(日本国内に本店がない場合においては、日本国内の主たる営業所の所在地。以下同じ。)の区分に応じ、同別記に定める申請先において、随時受け付ける。

[また、当該者が参加表明書を提出したときに限り、〇〇地方整備局総務部契約課(〒〇〇〇—〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇—〇—〇 電話〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇)においても当該指名競争参加資格の認定に係る申請を受け付ける。]

(3) 入札説明書の交付期間及び交付方法

令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで電子入札システムにより交付する。なお、これにより難しい場合は、(1)に掲げる担当部局に照会すること。

(4) 参加表明書を提出できる者の範囲

参加表明書を提出する時において、上記2(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定を受けている者とする。なお、令和〇年〇月〇日において当該資格の認定を受けていない者については、後日行う予定の入札公示に示すところに従い参加表明書を提出することができる。[「令和〇年〇月〇日」については、手続開始の公示の日を記載する。]

[(4) 参加表明書を提出できる者の範囲

令和〇年〇月〇日において、上記2(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定を受けていない者とする。[「令和〇年〇月〇日」については、手続開始の公示の日を記載する。]]

(5) 参加表明書の受領期限、提出先及び提出方法

令和〇年〇月〇日 00時00分 3(1)に同じ。原則として電子入札システムにより提出すること。

(6) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

令和〇年〇月〇日 00時00分 〇〇地方整備局〇〇〇 原則として電子入札システムにより提出すること。

4 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除。

② 契約保証金 納付(保管金の取扱店 〇〇〇)。ただし、利付国債の提供(保管有価証券の取扱店 〇〇〇)又は金融機関若しくは保証事業会社の保証(取扱官庁〇〇地方整備局)をもって契約保証金の納付に代えることがで

きる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。「また、公共工事履行保証証券による保証を付し、若しくは、履行保証保険契約の締結を行った場合又は業務完了保証人を付した場合は、契約保証金を免除する。」〔契約保証金を免除する場合は、その旨記載する。また、「 」を付した部分は、土木設計業務等（「土木設計業務等委託契約書の運用基準について」（平成7年6月30日付け建設省厚契発第28号）に規定する「土木設計業務等」をいう。）の**手続開始の公示及び入札公示**を行う場合に、下線を付した部分に代えて規定する文言である。〕

- (3) 入札の無効 本公示に示した指名されるために必要な要件を満たさない者のした入札、参加表明書に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (4) 落札者の決定方法 予決令第98条において準用する予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (5) 手続における交渉の有無 無。
- (6) 契約書作成の要否 要。
- (7) 関連情報を入手するための照会窓口 上記3(1)に同じ。

〔(8) 上記3(4)に該当する者は、現に上記2(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定を受けていない場合であっても、上記3(5)により参加表明書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時ににおいて、当該資格の認定を受け、かつ、指名されていなければならない。〕

- (8) [(9)] 詳細は入札説明書による。

5 Summary

- (1) Official in charge of disbursement of the procuring entity : 00000000
Kanto Regional Development Bureau Ministry of Construction
- (2) Classification of the services to be procured : 42
- (3) Subject matter of the contract :
- (4) Time—limit to express interests : 5:00 P.M. 1 September 1996
- (5) Time—limit for the submission of tenders : 4:00 P.M. 30 September 1996

(tenders submitted by mail 4:00 P.M. 28 September 1996)
- (6) Contact point for tender documentation : 0000 0000 Division Kanto

Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport
and Tourism, 2-1 Shintoshin Chuo-ku Saitama-shi Saitama 330-9724

TEL 00-0000-0000

- (注) 1 下線を付した部分は、手続開始の公示において記載し、入札公示においては記載しない。
- 2 [] を付した部分は、入札公示において記載し、手続開始の公示においては記載しない。

(別添2) 標準入札説明書例

入札説明書

〇〇地方整備局の〇〇〇〇業務に係る手続開始の公示（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く））及び入札公示（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く））に基づく指名競争入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

- 1 手続開始の公示日 令和〇年〇月〇日
入札公示日 令和〇年〇月〇日【入札公示以後にのみ記載する。】
- 2 契約担当官等
支出負担行為担当官 〇〇地方整備局長 〇〇 〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町〇—〇—〇
- 3 業務概要
 - (1) 業務名 〇〇〇〇業務
 - (2) 業務内容 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。
 - (3) 業務の詳細な説明
 - (4) 履行期限 令和〇年〇月〇日（ ）
- 4 指名されるために必要な要件
 - (1) 入札参加者に要求される資格
 - ① 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
 - ② 〇〇地方整備局における〇〇業務に係る指名競争参加資格の認定を受けていること。
 - (2) 入札参加者を選定するための基準
〇〇地方整備局建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領に定める指名基準による。なお、同基準中の「当該業務における技術的適性」については、保有する技術職員の状況、同種又は類似の業務の実績並びに配置予定の技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務等を勘案するものとする。
- 5 担当部局
〒〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇—〇—〇 〇〇地方整備局総務部契約課〇〇
係 電話〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇 電子メール〇〇〇〇@〇〇.〇
〇.〇〇
- 6 指名競争参加資格の申請時期及び申請先
4(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定に係る申請は、「競争参加者の資格に

関する公示」（令和○年○月○日付け国土交通省大臣官房会計課長、国土交通省大臣官房官庁営繕部管理課長公示）別記に掲げる当該者（当該者が設計共同体である場合においては、その代表者。）の本店所在地（日本国内に本店がない場合においては、日本国内の主たる営業所の所在地。以下同じ。）の区分に応じ、同別記に定める申請先において、随時受け付ける。

〔また、当該者が参加表明書を提出したときに限り、○○地方整備局総務部契約課（〒○○○—○○○○ ○○県○○市○○町○—○—○ 電話○○○○—○○—○○○○）においても当該指名競争参加資格の認定に係る申請を受け付ける。〕

7 参加表明書の提出等

- (1) 本競争の参加希望者は、次に従い、参加表明書を提出しなければならない。支出負担行為担当官は、参加表明書を提出した者の中から競争入札に参加する者を指名する。

次に従い参加表明書を提出することができる者は、参加表明書を提出する時において、4(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定を受けている者とする。なお、令和○年○月○日において当該資格の認定を受けていない者については、後日行う予定の入札公示に示すところに従い参加表明書を提出することができる。

【次に従い参加表明書を提出することができる者は、令和○年○月○日において、4(1)②に掲げる指名競争参加資格の認定を受けていない者とし、現に当該資格の認定を受けていない場合であっても、次に従い参加表明書を提出することができる。この場合においては、参加表明書を提出した者が、開札の時までに当該資格の認定を受けた場合に限り、指名通知をし、又は非指名理由を通知する。参加表明書を提出した者が、競争に参加するためには、開札の時において当該資格の認定を受け、かつ、指名されていなければならない。】

〔注：入札公示前は下線部を、入札公示以後は【 】を記載する。なお、「令和○年○月○日」については、手続開始の公示の日を記載する。〕

なお、受領期間内に参加表明書が到達しなかった場合は、指名されない。また、指名されなかった場合には、本競争に参加することはできない。

- ① 【入札公示後の】受領期間： 令和○年○月○日（ ）から令和○年○月○日（ ）まで土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前○時から午後○時まで。〔注：入札公示前は手続開始の公示に示した参加表明書の受領期限に、入札公示以後は入札公示に示し

た参加表明書の受領期限に従って記載する。また、【 】は、入札公示以後にのみ記載する。
]

- ② 提出先： 5に同じ。
- ③ 提出方法： 原則として電子入札システムにより行うものとする。
- (2) 参加表明書は、別記様式1から別記様式5までにより作成すること。
- (3) 4(2)の同種又は類似の業務の実績及び配置予定の技術者の業務の経験については、効力を有する政府調達に関する協定を適用している国及び地域並びに我が国に対して建設市場が開放的であると認められる国及び地域以外の国又は地域に主たる営業所を有する建設コンサルタント等にあつては、我が国における同種又は類似の業務の実績及び業務の経験をもって判断するものとする。
- (4) 参加表明書は、次に従い作成すること。
 - なお、③の同種又は類似の業務の実績及び④の配置予定の技術者の業務の経験については、〇〇年度以降に、業務が完了し、引渡しが済んでいるものだけに限り記載すること。
 - ① 登録状況
 - 建設コンサルタント登録規程（昭和52年建設省告示第717号）その他の登録規程に基づく登録状況について別記様式2に記載すること。
 - ② 保有する技術職員の状況
 - 保有する技術職員の状況について別記様式3に記載すること。
 - ③ 同種又は類似の業務の実績
 - 当該業務と同種又は類似の業務の実績を別記様式4に記載すること。
 - 記載する同種又は類似の業務の実績の件数は1件でよい。
 - なお、当該業務と同種又は類似の業務の実績とは以下のものをいう。
 - ・ ○○
 - ④ 配置予定の技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務
 - 配置予定の技術者について別記様式5に記載すること。
 - ⑤ 契約書の写し【契約書の写しの提出を求める場合のみ記載する。】
 - ③の同種又は類似の業務の実績として記載した業務に係る契約書の写しを提出すること。ただし、当該業務が、一般財団法人日本建設情報総合センターの「測量調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）」に登録されている場合は、契約書の写しを提出する必要はない。
- (5) その他
 - ① 参加表明書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

- ② 提出された参加表明書は、返却しない。
- ③ 支出負担行為担当官は、提出された参加表明書を、入札参加者の選定以外に提出者に無断で使用しない。
- ④ 受領期限以降における参加表明書の差し替え及び再提出は認めない。
- ⑤ 参加表明書に関する問い合わせ先
 - (1)、(2)及び(5)に関して…… 5に同じ。
 - (3)及び(4)に関して…… 〒○○○ ○○県○○市○○町○—○—○
○○地方整備局○○部○○課○○係 電話○○○○—○
○—○○○○

8 非指名理由の説明

- (1) 参加表明書を提出した者のうち指名しなかったものに対して、指名しなかった旨及び指名しなかった理由（以下「非指名理由」という。）を書面により通知する。
- (2) 指名しなかった旨の通知を受けた者は、支出負担行為担当官に対して非指名理由について、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。
 - ① 受領期限： 指名しなかった旨の通知をした日の翌日から起算して7日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日を含まない。）後の午後○時
 - ② 提出先： 5に同じ。
 - ③ 提出方法： 原則として電子入札システムにより提出するものとする。
- (3) 支出負担行為担当官は、説明を求められたときは、提出期限の翌日から起算して10日以内に説明を求めた者に対し書面により回答する。

9 入札説明書に対する質問

- (1) この入札説明書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出すること。
 - ① 受領期間： 令和○年○月○日（ ）から令和○年○月○日（ ）まで。
 - ② 提出先： 5に同じ。
 - ③ 提出方法： 原則として電子入札システムにより提出するものとする。
- (2) (1)の質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供する。
 - ① 期間： 令和○年○月○日（ ）から令和○年○月○日（ ）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前○時から午後○時まで。
 - ② 方法： 原則として電子入札システムによるものとする。

10 入札及び開札の日時及び場所

- (1) 日時： 令和○年○月○日（ ） 午前（午後）○時○○分。
- (2) 場所： ○○地方整備局○○○

11 入札方法等

- (1) 入札書は原則として電子入札システムにより提出すること。
- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。
- (3) 入札執行回数は、原則として 2 回を限度とする。

12 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金 免除。
- (2) 契約保証金 納付（保管金の取扱店 ○○○）。ただし、利付国債の提供（保管有価証券の取扱店 ○○○）又は金融機関若しくは保証事業会社の保証（取扱官庁 ○○地方整備局）をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。「また、公共工事履行保証証券による保証を付し、若しくは、履行保証保険契約の締結を行った場合又は業務完了保証人を付した場合は、契約保証金を免除する。」

【契約保証金を免除する場合は、その旨記載する。また、「」を付した部分は、土木設計業務等（「土木設計業務等委託契約書の運用基準について」（平成 7 年 6 月 30 日付け建設省厚契発第 28 号）に規定する「土木設計業務等」をいう。）の手続開始の公示及び入札公示**を行う場合に、下線を付した部分に代えて規定する文言である。】**

13 開札

入札者又はその代理人は開札に立ち会わなければならない。入札者又はその代理人が開札に立ち会わない場合においては、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて開札を行う。

14 入札の無効

手続開始の公示及び入札公示に示した指名されるために必要な要件のない者のした入札、参加表明書に虚偽の記載をした者のした入札並びに別冊現場説明書及び別冊○○地方整備局競争契約入札心得において示した条件等入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には

落札決定を取り消す。

なお、支出負担行為担当官により指名された者であっても、開札の時に於いて指名停止を受けているものその他の開札の時に於いて4に掲げる要件のないものは、指名されるために必要な要件のない者に該当する。

15 落札者の決定方法

予決令第98条において準用する予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

16 手続における交渉の有無 無。

17 契約書作成の要否等

別冊契約書案により、契約書を作成するものとする。

なお、別冊契約書案における第5条第3項及び第4項の使用を希望する場合は、落札決定後に以下の手続を取るものとする。【受託業務等の特定の歳入財源を前提とした業務、他省庁等からの支出委任業務の場合は記載しない。この場合、別冊契約書案第5条第3項及び第4項の規定は削除される。】

- (1) 別冊契約書案第5条第3項及び第4項の使用を希望する落札者は、落札決定の日から2日以内（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）にその旨を申し出なければならない。
- (2) (1)の申請があった場合、支出負担行為担当官は落札者が契約を確実に履行する体制を有しているか否かを確認する調査を実施するものとする。
- (3) 落札者は調査の実施に協力し、落札決定の日から5日以内（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）に必要な書類を提出すること。
- (4) (2)の調査の結果、業務委託料債権がこの契約の履行以外の目的で使用される恐れがあると認められるときは、別添契約書案から第5条第3項及び第4項を削除して契約を締結するものとする。

18 支払条件

19 火災保険付保の要否

20 苦情申立て

本手続に関し、「政府調達に関する苦情の処理手続」（平成7年12月14日付け政府調達苦情処理推進本部決定）により、政府調達苦情検討委員会（連絡先：内閣府政府調達苦情処理対策室内政府調達苦情検討委員会事務局、電話 03-3581-2111（大代表））（に対して苦情を申し立てることができる。

21 関連情報を入手するための照会窓口

5に同じ。

22 その他

- (1) 契約等の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札参加者は、別冊〇〇地方整備局競争契約入札心得及び別冊契約書案を熟読し、〇〇地方整備局競争契約入札心得を遵守すること。
- (3) 参加表明書に虚偽の記載をした場合においては、参加表明書を無効とするとともに、指名停止を行うことがある。
- (4) 落札者は、参加表明書に記載した配置予定の技術者を当該業務に配置すること。

参加表明書

令和 年 月 日

〇〇地方整備局長 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名

令和〇年〇月〇日付けで手続開始の公示【入札公示】のありました〇〇〇業務に係る指名競争に参加を希望します。[注：入札公示前は下線部を、入札公示以後は【 】を記載する。]

なお、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条の規定に該当するものでないこと並びに参加表明書の内容については事実と相違ないことを誓約します。

注) 参加表明書として別記様式 1 から別記様式 5 まで【及び契約書の写し】を提出してください。[注：【 】は契約書の写しの提出を求める場合のみ記載する。]

(別記様式2)

登録状況

提出者名：_____

登録規定等の題名	登録番号	登録年月日	登録部門

(別記様式3)

保有する技術職員の状況

提出者名：_____

専門分野	技術職員数	うち有資格者数

(別記様式 4)

同種又は類似の業務の実績

提出者名：_____

同種又は類似の業務の実績			
業務名			
発注機関名			
契約金額			
履行期限			
業務の概要			

(別記様式 5)

配置予定の技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務

提出者名：_____

配置予定の 管理技術者	氏名	生年月日		
	所属・役職			
	資格・部門等	取得年月日		
	〇〇年度以降の主な業務の経験	業務名		
		発注機関名		
		履行期限		
	現在の手持ち業務	業務名		
		発注機関名		
		履行期限		